

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類	詳細点検
事務事業名	タクシー利用料金助成	シート番号	A 一般事務事業
担当部署名	健康福祉 局 障害福祉 部 障害者支援 課	評価責任者(課長名)	増田

≪ I. 基本情報 ≫

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け	
			施策	3	障害者等が自分らしく輝いて暮らせる地域社会の実現	無	
	2	事業開始年度	平成 5 年度		終了(予定)年度	— 年度	
	3	根拠法令等 (法令、条例、規則、要綱等)	堺市重度障害者福祉タクシー利用料金助成要綱				
	4	関連計画	第4次堺市障害者長期計画				
5	事業実施の経緯	重度心身障害者(児)の社会参加促進とその福祉の増進を図るため、平成5年度から事業を開始した。					

≪ II. 事業概要 ≫

事業概要	6	事業の実施主体 (誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input checked="" type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()				
	7	事業の対象 (誰を、何を対象としているのか)	・身体障害者手帳の等級が1級または2級で、視覚・肢体(下肢、体幹)・内部障害に該当する者 ・療育手帳の等級がA(重度)の者				
	8	事業の目的 (どのような状況にしたいのか)	重度心身障害者(児)の社会参加とその福祉の増進を図るため、日常生活を営む上で移動手段であるタクシーの利用料金の一部助成を目的とする。				
	9	事業内容 (スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	対象者が障害者タクシーチケットを利用した場合、初乗り料金の9割相当額を助成する。 実施手法 ・市とタクシー会社が1年度ごとに契約。 ・市から対象者に障害者タクシーチケットを交付。 ・契約タクシー会社が障害者タクシーチケットを受領した場合、初乗り料金の9割に相当する額をタクシー会社から市に請求。 ・残額を利用者が支払う。				
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (扶助費) 契約タクシー会社					

≪ III. 投入量 ≫

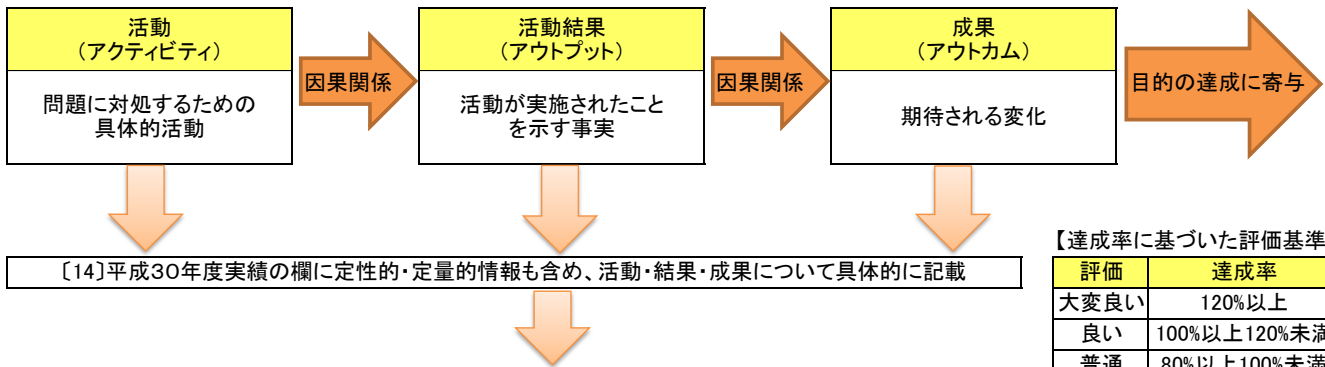
	項 目	単 位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業コスト	11 事業費 (a)	千円	52,954	55,207	53,184	55,281	
	主な事業費内訳	扶助費	千円	49,525	49,194	47,464	49,839
		委託料	千円	2,342	0	0	0
		需用費	千円	747	976	1,072	750
		役員費	千円	340	5,037	4,648	4,692
		国・府支出金	千円				
	財源内訳	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
		市債	千円				
		その他()	千円				
		一般財源	千円	52,954	55,207	53,184	55,281
12	人件費 (b)	千円	1,640	1,640	1,640	1,620	
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	54,594	56,847	54,824	56,901	

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	タクシー利用料金助成	シート番号	11-155
-------	------------	-------	--------

Ⅳ. 評価(測定・分析)

ロジックモデルの考え方



[14]平成30年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15]または[16]に定量的な指標、または定性的な目標を記載

【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

事業の活動内容や成果

		平成30年度実績					
活動実績と成果	14	重度心身障害者(児)の社会参加とその福祉の増進を図るため、平成30年度においても障害者タクシーチケットを交付した。平成30年度における障害者タクシーチケット交付者数は12,657人、利用件数は80,840件であった。					
	15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
		交付者数	人	目標値	-	-	-
				実績値	12,443	12,598	12,657
				達成率	-	-	-
				評価	-	-	-
	算出方法・設定根拠など		本事業は、要件を充足すれば交付対象者となるため、数値化した目標は設定しない。				
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
		利用件数	件	目標値	-	-	-
				実績値	82,259	81,533	80,840
達成率				-	-	-	
評価				-	-	-	
算出方法・設定根拠など		利用件数は、タクシーチケットを交付された重度障害者の個別事情に依るため、目標値は設定しない。					

業績の分析

17	目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
	交付者数は微増、利用件数は微減であるが、ほぼ横ばいで推移しており、変わらず一定のニーズがあるものと考えられる。

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。